

#1神の永遠の定められた御旨と一人の新しい人(一人の新しい人は、人を創造した神の定められた御旨を成就する)2019/11/11-17

い人は、人を創造した神の定められた御旨を成就する)2019/11/11-17

I. 永遠の定められた御旨(もろもろの時代の定められた御旨)は、神が過去の永遠に立てた永遠のご計画です:

A. 宇宙における神の定められた御旨は、彼と完全に同じ一群れの人を生み出すことです。これは聖書の独特の主題です:

1. この一群れの人、命、性質、かたち、外観、輝き、栄光、外側の表現において神と同じです。

2. 神の定められた御旨が完成されるのは、神聖な命を彼の選ばれ贖われた人の中へと分与することによってです。神の命が彼の民の中へと造り込まれるとき、新陳代謝的な反応が彼らの内側に起こり、彼らが造り変えられて神と同じになるようになります。

B. 「人」は聖書で重大な言葉です:

1. 神の意図は人と共にあり、神の思想は人に集中しており、神の心は人の上にあります。

2. 神のご計画を完成するのは人であり、神を表現するのは人であり、神の敵を打ち破るのは人であり、神の王国を人類の中へともたらすのは人です。

3. 人は神の現れの手段であり、人は神の行動の手段であり、人は神の行政の手段です。エゼキエル1:5 また、その真ん中から四つの生き物の姿が出て来た。それはこのような外観であった。彼らは人の姿を持っていた。26 また、彼らの頭の上にある大空の上に御座のようなものがあり、サファイア石の外観のようであった。そして御座のようなものの上、人のような外観の方がその上におられた。

C. 神の永遠の定められた御旨は、団体の人を得て神を表現し、神を代行することです。これが人を創造した神の定められた御旨でした。

II. 「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう」(創1:26):

A. 聖書に神と人の関係について、奥義的な思想があります:

1. 神の願いは、人と同じになり、人を彼と同じにすることです。

2. 神の意図は、ご自身をキリストの中で私たちの中へと造り込み、ご自身を私たちと同じにし、私たちを彼と同じにすることです。

B. 「人を造ろう」が啓示しているのは、神格の三者の間に、人の創造に関して会議があったということです:

1. 人を創造するという決定は、過去の永遠においてなされました。これが示しているのは、人を創造することが、三一の神の永遠の定められた御旨のためであったということです。

2. 人を創造した神の意図は、彼の神聖なエコノミーを遂行して、ご自身を人の中へと分与するためでした。

C. 神は彼ご自身のかたちに、彼の姿にしたがって人を創造しました:

1. 神のかたちは、神の内なる存在を指しており、神の属性の内なる本質の表現であり、これらの属性の最も顕著なものは、愛、光、聖、義です。

2. 神の姿は、神の形を指しており、神のパーソンの本質と性質の表現です。

3. 神は人を創造してご自身の複製とならせました。それは、人が神を内容とし神を表現する能力を持つためです。

D. 神が神のかたちに、神の姿にしたがって人を創造したのは、神の意図が、人の中へと入って来て、人と一になることであるからです。

E. 神はご自身のかたちに人を創造し、神のエコノミーを通して、人が神の命と性質を受け入れ、それによって神の表現となるようにしました。

1. 私たちは神の種類にしたがって創造されたので、私たちの人性の美德は神聖な属性を内容とする能力を持っています。

2. 神が彼のかたちに人を創造したことが意味するのは、神が人を創造した意図が、人が神のコピー、神の複製となり、神の団体的な表現となることであるということです。この複製は神を幸いにします。なぜなら、神の複製は神のように見え、神のように語り、神のように生きるからです。

ローマ8:29 なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです。

III. 「『彼らに、…治めさせよう』。…地に満ちよ、そして地を従わせよ。そして…治めよ」(創1:26):

A. 人に統治権を与えた神の意図は、神に反逆した神の敵サタンを征服することです:

1. 地を這う這うものが予表するのは、サタン、蛇、彼の使いたち、またサタンに従う悪鬼どもです。

ルカ10:19 見よ、私はあなたがたに、蛇やさそりや敵のすべての力を踏みつける権威を授けた。だから、何もかも決してあなたがたを害することはない。

2. 創世記1:28の「従わせよ」が暗示するのは、神と彼の敵サタンとの間で、地上で激しい戦いが進行しているということです。地を得る者はだれであれ、勝利を得ます。

創1:28 神は彼らを祝福された。そして神は彼らに言われた、「生めよ、また増えよ。そして地に満ちよ、そして地を従わせよ、…」。

3. 神は問題を持っています。この問題は、天使長サタンが神に反逆し、宇宙において、特に地上で神の敵となったということです。

a. 神の敵を従わせ、こうして神の問題を解決するために、神は人に権威を与えて、神によって創造された万物を支配させるようにしました。b. 人は特に地を支配し、地を従わせさせなければなりません。なぜなら、地は神の反動的な敵によって強奪されてきたからです。

4. 神は、人が神の権威をすべての這うものに行使することを必要としています。神は、人が反動的な地を従わせ、征服することを必要としています。それは、神が彼の王国のために地を回復するためです。マタイ6:10 あなたの王国が来ますように、あなたのみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれますように。

B. 人に統治権を与えた神の意図は、地を回復することです: 1. 神はご自身のために地を回復するという意図をもって、人を創造しました。

2. 人が神によって創造されたのは、地に対する統治権を持ち、地を従わせ、地を征服し、それによって神のために地を回復するためでした。

3. 神は地を再び得ることを願っています。地は決定的に重要な場所、すなわちサタンが保持することを願う場所、また神が再び得ることを願う場所となりました。

C. 人に統治権を与えた神の意図は、人が地に対して神の権威を行使し、神の王国が地上に来て、神のみこころが地で行なわれ、神の栄光が地に現されることです。

IV. 一人の新しい人としての召会は、神の意図の中にある団体の人です。この新しい人は、神のかたちを持って神を表現し、神の王国のために神の敵と戦うという、二重の定められた御旨を完成します:

コロサイ3:10-11 新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。

A. 聖書は、一人の新しい人が個人ではなく、一人の団体の、宇宙的な人であることを啓示しています：

1. 一人の新しい人は団体の神・人です：

a. 最初の神・人、すなわち神の長子は、この団体の神・人(新しい人)のかしらです。

b. 多くの神・人、すなわち神の多くの子たちは、この団体の神・人(新しい人)のからだです。

2. 私たち、キリストにある信者は、みなキリストと一であって、新しい人となります。私たちはみな一人の新しい人の各部分です：

a. 宇宙には多くの信者と多くの地方召会がありますが、ただ一人の新しい人がいるだけです。

b. すべての信者は、この一人の団体的で宇宙的な新しい人の構成要素です。 **金**

B. 一人の新しい人は戦士であり、神の敵と戦います：

エペソ6:10-12 最後に、主の中で、また彼の力強い大能の中で力づけられなさい。神のすべての武具を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができます。というのは、私たちの格闘は血肉に敵対するものではなく、支配者たちに、権威者たちに、この暗やみの世の主権者たちに、天上にいるあの悪の霊の勢力に、敵対するものだからです。

1. 戦士は召会の身分ではなく、新しい人としての召会の一面です。

2. 団体の新しい人としての召会は戦士であり、信者たちは共にこの新しい人を構成します。

3. 私たちは霊的戦いを単独で戦うのではなく、からだの中で、一人の新しい人の中で戦わなければなりません。 **土**

Crucial Point(1):人が神の栄光を表現する

創 1:26 われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう。

OL1:神はご自身のかたちに人を創造し、神のエコノミーを通して、人が神の命と性質を受け入れ、それによって神の表現となるようにしました。

OL2:私たちは神の種類にしたがって創造されたので、私たちの人性の美徳は神聖な属性を内容とする能力を持っています。

OL3:神が彼のかたちに人を創造したことが意味するのは、神が人を創造した意図が、人が神のコピー、神の複製となり、神の団体的な表現となることであるということです。この複製は神を幸いにします。なぜなら、神の複製は神のように見え、神のように語り、神のように生きるからです

人が神のかたちに創造されたのは、神の表現となるためです。神は宇宙の中心ですが、表現を必要とされ、この表現は人を通してです。…無数の御使いは、神の表現となることはできません。神は、彼を表現する団体の人を必要とされます。あなたは、自分が人であるという事実を決して軽んじるべきではありません。

私たちはキリストの表現としての召会について話しますが、キリストの表現とは何であるかを認識していないかもしれませぬ。召会が表現しなければならないキリストは、御座の上のその人です。私たちはキリストを表現しようとするなら、キリストは今日なおも人であることを認識する

必要があります。私たちはただ神を表現するだけではありません。私たちは人の中の神を表現します。召会はキリストの表現です。これは、召会がただ神の表現であるだけでなく、人の表現でもあることを意味します。

エゼキエル 1 章のビジョンは、四つの生き物が人の外観を帯びていることに関して三つの重要な事柄を啓示しています。第一に、神の栄光が彼らの上に現されています。神の栄光の現れは、四つの生き物が人の外観を持っていることにかかっています。彼らがいる所に、神の栄光があります。神の栄光は彼らから分離しておらず、彼らから離れて、神の栄光は現されることができません。第二に、これらの生き物は神の行動の手段です。神の行動は彼らにかかっています。彼らが行動するとき、神が行動されます。なぜなら、神の行動は彼らと共にあるからです。第三に、人の外観を帯びている四つの生き物は、神の行政の手段です。エゼキエル 1 章は、神が御座に座しておられることを啓示しています。神の御座、地上のあらゆるもの、この書に記録されているあらゆるものを支配します。ですから、この御座は神の行政の中心です。しかしながら、神の行政の中心は、四つの生き物が人の外観を持っていることにかかっています。このゆえに、神の御座の行政があるのです。私たちはこの三つの事を一緒にするなら、人が神の現れの手段であること、人が神の行動の手段であること、人が神の行政の手段であることを見ます。神の目に、また神の御手の中で、人にはそのような重要な地位があります。

適用:青少年・大学生編

神のエコノミーのビジョンの観点から見ると、人が極めて重要であることが分かります。神の計画において人は宇宙の中心、意義、VIPです。あなたは日本の若者たちに、この福音を宣べ伝えるべきです。神は人を愛し、人を尊び、人を顧みています。あなたは決して自分を軽く見たり、どうでもいい意義のない存在であると考えるはいけません。それは絶対に間違っています。先進国で若者(15~34歳)の自殺率が最も高いのは日本です。また若者の死因の第一位は自殺です。ですから召会は若者たちに福音を伝える責任があります。

あなたは、「成績がぱっとしない、あるいは成績が悪いので、神は私を用いることができない」と考えるはいけません。この考えは絶対に間違っています。キリストのからだの肢体には様々な機能があり、あなたにはあなたの機能があります。またあなたがどのような肢体であれ、共通している三つのことがあります。それは、**(1)**あなたは神の栄光を表現する人であり、**(2)**あなたを通して神が地上で行動し、**(3)**あなたを通して神が行政を執行するという事です。あなたはこれら三つの事のゆえに、宇宙の中心、意義、VIPなのです。決して自分自身を見て失望してはいけません。あるいは自分自身を見て高ぶってもいけません。あなたに優れたものがあつたとしても、神の栄光、神の行動、神の行政以上に優れているものは何もありません。あなたはこのことのゆえに神に感謝し、誇るべきです。

例えば、あなたのクラスでいじめられている人がいます。あなたはこの人やいじめている人たちのために祈り、いじめられている人を愛し、顧みることができます。多くの学生は自分がいじめられないため、いじめられている人を顧みることを恐れます。神の栄光とは表現された神ですので、あなたが神の愛をもってその人を愛すれば、あなたの身の上には神の栄光があります。さらにその人に福音を伝えることができれば、なおすばらしいで

す。神は人と共に出て行って行動し、神の行政を執行します。神の行政とは、分与のためのアレンジメントです。キリストの豊富を福音として人に分配することが、神の行政を執行することです。

Oh, I'm a man! I'm the meaning of the universe!
Yes, I'm a man! I'm the meaning of the universe!
God made me such, I am so much!

I'm the center and the meaning of the universe!

祈り:「おお主イエスよ、私が神の目に非常に重要である人であることを感謝します。なぜなら人である私を通して、神は栄光を表し、行動し、神の行政が執行されることが出来るからです。私は自分を軽んじません。私も、私の友達も、宇宙の中心、意義、VIPです。ハレルヤ！この福音を友人たちにも伝えることができますように！」

Crucial Point(2):団体生活の中で、**霊に戻って祈り、サタンに敵対して戦い、サタンを支配し、地を回復する**

OL1:人に統治権を与えた神の意図は、神に反逆した神の敵サタンを征服することです。

OL2:人が神によって創造されたのは、地に対する統治権を持ち、地を従わせ、地を征服し、それによって神のために地を回復するためでした。

OL3:神は地を再び得ることを願っています。地は決定的に重要な場所、すなわちサタンが保持することを願う場所、また神が再び得ることを願う場所となりました。

[人に統治権を与えた]神の意図の第一の面は、神の敵…このものによって予表されたサタンを対処することです。聖書で、このものは悪鬼的、悪魔的、サタンのです。…サタンは蛇によって予表されます。啓示録12:9で、サタンは「太古の蛇」と呼ばれています。

私たちは家庭生活の中で神を表現し、サタンを対処する必要があります。…私は経験によってこれを学びました。ときどき、サタンが私の家族の者に表現されているのを見たとき、私は一言も言いませんでした。私は寝室に行き、ひざまずいて、「主よ、蛇を縛ってください」と祈りました。何度となく私は、自分自身が蛇を表現していることを認識しました。再び私は走り去って、「おお、主よ、赦してください。蛇を縛ってください」と祈りました。多くの場合、神の神聖な権威は行使されません。サタンの邪悪な力が代わりに表現されます。…私たちはみな、神が今日、達成すべき二重の目標を持っておられることを認識しなければなりません。それはご自身を表現することと、彼の敵を対処することです。短気を起こすのは、実はあなたの夫ではありません。それは蛇です。あなたに短気を起こさせることを言うのは、実はあなたの妻ではありません。それは蛇です。夫を対処してはなりません。妻を対処してはなりません。それは彼らの落ち度ではありません。私たちは彼らの背後にいる蛇を対処しなければなりません。言葉を交わすことは、決してサタンを対処することはできません。私たちが論争すればするほど、ますますサタンは立場を獲得します。サタンを対処する唯一の道は、行ってひざまずき、祈り、イエスの御名を呼び求め、蛇を縛ってくださるよう彼に求めることです。

人に統治権を与えた神の意図の第二の面は、地を回復することです。人は地に対する統治権を持ち、それを従わせ、征服すべきです。地を征服することが意味するのは、敵がすでにそこにいるということ、激しい戦いが進行しているということです。ですから、私たちは戦って征服しなければなりません。

結婚することを準備している若い人たちは、結婚が戦いであることを認識しなければなりません。私たちの

多くが、これを経験によって知っています。私たちはハネムーン最中でさえ、戦場において、夫あるいは妻と戦っていました。たとえ外側では戦わなくても、内側で戦いました。生活のあらゆる場面、学校生活、職場生活、家庭生活が戦場です。敵は決して眠りません。彼は一日中、家庭生活の中だけでなく、また召会生活の中でも狙っています。召会生活の中でさえ、サタンと彼のすべての使者は忙しいのです。地上で激しい戦闘が進行しています。神の意図は地を回復することです。

人に統治権を与えた神の意図の第三の面は、地上に神の権威をもたらす、神の権威を行使することです。人が神の権威を行使しなければならないのは、神の王国が地上に来て、神のみこころが地で行なわれ、神の栄光が地で現されるためです。このすべてが地上にあるでしょう。神は彼の王国を天に持つだけでは決して満足されません。また彼は、みこころが天で行なわれるだけでは幸いでなく、そして彼の栄光が天で現されるのを見るだけでは幸いではありません。彼はこれらすべてのことが地で起こることを願われます。これが今日の召会の責任です。召会の中で、私たちは神の王国を持ちます。召会の中で、神のみこころは行なわれます。

適用:ビジネス・ライフ、マレッジ・ライフ、キャンパス・ライフ、チャーチ・ライフなどの**団体生活編**

あなたは神を入れ、神を表現する器です。しかし多くの場合、神を表現することに失敗して、サタンを表現してしまいます。あなたはあなたのパートナーや、同僚がサタンを表現している時、あるいは自分がサタンを表現している時、彼らの背後、また自分自身の肉の中でサタンが活発に動いていることを認識してください。怒りを爆発させるのは、その人ではなくサタンです。社会生活、家庭生活やすべての団体生活の中で、サタンの働きが非常に活発であることを見てください。このサタンと邪悪な霊に敵対することができるのは、霊の中で祈ることと、キリストのからだの中に留まることでのみ可能です。

あなたはサタンに攻撃された消極的で複雑な思いにとどまらず、霊に戻り、霊の中で祈ってください。またパートナーと一緒にサタンを縛る祈りをしてください。例えば、サタンはあなたの思いに配偶者を憎ませる思想を注入するために、あなたに次のようにささやきます、「夫が怠けているので文句を言うべきだ」、あるいは「妻がいつも感情的に振舞っている」。しかし実はこの不和を掻き立てているのは、サタンです。召会生活に留まり、思いに従ってではなく、霊の中で祈ってください。人の霊は逃れの場所であり、サタンからのささやきや誘惑から逃れる唯一の場所です。サタンのささやきの言葉を考慮し続けると、あなたはサタンの奴隷になってしまいます。あなたは次のように祈ってください、「おお主イエスよ、私はサタンと会話することで出てきた感覚に従って歩んではいけません。攻撃された思いに留まっていると、サタンの奴隷となってしまいます。逃れの場所である自分の霊に戻り、祈ります。私は神の言葉に聞き従います。サタンの言葉を拒絶します。霊の中で祈り、主の御名によって戦い、サタンを縛ります。アーメン！」

Crucial Point(3):信仰によって神の願いを成就するために、パートナーと共に霊的な戦いを戦う

OL1:一人の新しい人としての召会は、神の意図の中にある団体の人です。この新しい人は、神のかたちを持って神を表現し、神の王国のために神の敵と戦うという、二重の定められた御旨を完成します

OL2:一人の新しい人は団体の神・人です。すべての信者は、この一人の団体的で宇宙的な新しい人の構成要素です。私たちは霊的戦いを単独で戦うのではなく、からだの中で、一人の新しい人の中で戦わなければなりません。

新しい人としての召会は戦士であって、神の敵と戦います。なぜなら新しい人は今や神の定められた御旨を完成して神を表現し、神の統治権、神の王国のために神の敵と戦っているからです。

エペソ6:10-12 最後に、主の中で、また彼の力強い大能の中で力づけられなさい。神のすべての武具を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができるためです。というのは、私たちの格闘は血肉に敵対するものではなく、支配者たちに、権威者たちに、この暗やみの世の主権者たちに、天上にいるあの悪の霊の勢力に、敵対するものだからです。

ここでの「血肉」は人を指しています。血肉の人の背後には悪魔の悪の勢力があって、神の定められた御旨に敵対して戦っています。ですから、私たちの格闘、私たちの戦いは、人に敵対するものではなく、天上にいる悪の霊の勢力に敵対するものです。…「この暗やみ」は今日の世を指しており、世は悪魔の邪悪な使いたちを通して完全に悪魔の暗い支配の下にあります。「この暗やみの世の主権者たち」は、サタンが立てた首長であり、さまざまな諸国民を支配します。暗やみの権威であるサタンの働きゆえに、地とその大気は「この暗やみ」となりました。「天上にいるあの悪の霊の勢力」は、サタンと空中にいる彼の悪の霊の勢力です。召会とサタンの戦いは、主を愛して彼の召会の中にいる私たちと、天上にいる悪の力との戦いです。私たちはこれらの霊の勢力に敵対して戦わなければなりません。

新しい人が神の敵と戦うのは、主の中で力づけられることによるだけでなく、神のすべての武具としての、キリストのさまざまな属性を着ることによってでもあります。神のすべての武具は、からだ全体のためであって、からだのいかなる個人の肢体のためでもありません。

適用：青年在職・大学院生編

世の中の人々が「会社に行くと、七人の敵がいる」と言ってビジネス・ライフが戦いであることを描写しています。これは的を射た表現です。しかし、このことわざは誰とどのように戦うのかを示していません。しかし聖書はそのことを明確に述べています。あなたはあなたを攻撃する人と戦うのではなく、人の背後で活動し動機づけているサタンとサタンの手下である邪悪な霊たちに敵対して戦います。この戦いで、あなたは自分の力に頼って戦うことは不可能です。あなたの力、能力は何の意味もありません。なぜならサタンはあなたよりはるかに強いからです。あなたは主の大能の中で力づけられ、キリストのからだの中で神の全武具を身に着けて戦ってください。

サタンは人を騙す方法であなたに攻撃してきます。そしてあなたが召会生活から離れるように、あるいはあまり深く入らないようにします。なぜなら建造された召会にサタンは打ち勝つことができないからです。またサタンはあなたを霊から思いに戻すように働きかけます。なぜなら霊の中には神の語り掛けだけがあり、サタンはささやくことによって攻撃できないからです。

例えば、「神の二重の目的とか言っても、日本ではそんな聖書の話は実際のビジネス・ライフには通用しない」、「聖書の言葉の綺麗事は教理上の問題だけで、実際には日本では役に立たない」、「結局自分の力で頑張らないと会社をクビになる」などとサタンは語りかけ

ます。民数記概要(上)のp.338のイスラエル人が良き地に入るための戦いに関する抜粋を読んでください。「もしイスラエルの子たちが神を畏れて、神を愛していたなら、彼らは神の心の願いを知って、大胆に宣言したことでしょう、『カナンのは、神が私たちに得るよう命じられた地であるのですから、神は私たちがその地を得ることに責任を負われます。私たちは神を愛しているので、自分たちの命の危険を冒してもその地に入ります』。そうすればイスラエル人の信仰は増し加わっていたでしょう。しかしながら、彼らは自分自身の命を保持して死を恐れ、神を畏れなかったので、信仰を失いました」。

あなたは会社をクビになることを恐れて信仰を捨ててはいけません。あなたは会社で勤勉に働き、良い証しを持つべきですが、決してクビになることを恐れて信仰を失ってはいけません。会社で問題が起こった場合、兄弟姉妹と一緒に祈り、証しを維持するためにサタンと敵対して戦い、サタンを対処してください。

祈り：「おお主イエスよ、イスラエルの民はカナンの良き地に入る前に、カナン人が巨人で非常に強そうなのを見て自分自身の安全を顧慮して、不信仰になり神の願いを見失ってしまいました。このことは私たちに對する警告です。信仰のゆえに会社をクビになることを恐れてはいけません。信仰を保って神の願いを求めれば、神は必ず私たちのビジネス・ライフも祝福して下さいます。霊的パートナーと共に霊の中で祈り、戦うことを学びます」。

人生の奥義(2)

私たちの取るべき態度『言い表す』

A.「さあ、エホバに立ち返ろう。彼は私たちを…いやし…包んでくださるからだ。彼は…私たちを生かし…それゆえ、私たちは知ろう。エホバを知ること追求めよう。彼が現れ出るのは夜明けのように確かであり、彼は雨のように私たちに臨み、後の雨のように地を潤す」(ホセヤ 6:1-3)。

B.「すべて労苦し重荷を負っている者は、私に來なさい。そうすれば、私はあなたがたに安息を与える」—何か働きに成功しようとして奮闘する労苦のことを言っています。このように労苦する人はだれでも、常に重荷を負っています。…安息は、律法と宗教から、また働きや責任の労苦と重荷から解放されることだけでなく、完全な平安と全き満足のことを言っています(マタイ 11:28、Fn1&2)。

C.「ですから、私たちがあわれみを受け、また時機を得た助けとなる恵みを見いだすために、大胆に、恵みの御座に進み出ようではありませんか」—私たちがあわれむべき状態にあるとき、神のあわれみがまず私たちに届き、私たちを、神が彼の恵みを施すことのできる状態にもたします。…神のあわれみはさらに遠くまで届いて、私たちと神の恵みとの間の隔たりに、橋渡しをします。神のあわれみと恵みは常に、私たちのものとなることができます(ヘブル 4:16、Fn2)。

D.「渇いている者は來たれ、欲しい者は、命の水を値なしに飲むがよい」—キリストを享受することの約束と考えられます。命の水を飲むようにと招きます。その命の水は命を与える霊です(啓示録 22:17、14のFn1)。

E.「さあ！渇いている者はみな水に來なさい。あなたがた銀のない者も、來なさい。買って食べなさい。来て、銀を出さず無代価で、ぶどう酒と乳を買いなさい。なぜ、あなたがたは糧でもないもののために銀を費やし、満足させないもののために労苦するのか？聞け、私に聞け、良いものを食べ、あなたがたの魂を脂肪で楽しませよ。あなた方の耳を傾け、私に來なさい」(イザヤ 55:1-3)。